



平成30年10月30日

広島大学長表彰等の授与式について

平成30年度の広島大学長表彰等の被表彰者を決定し、以下のとおり、ホームカミングデーのオープニングセレモニー内において、授与式を執り行います。

「広島大学長表彰」制度は、平成14年度に創設し、教育・研究や社会貢献などで特色ある顕著な業績を挙げ、広島大学の発展に貢献した本学教職員や団体および学外の個人や団体を表彰するものです。

また、「広島大学教育賞」制度は、平成28年度に創設し、本学における教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる教員を顕彰することにより、教員の意欲向上並びに教員の教育方法及び教育技術の向上を図り、もってより優れた教育の推進に資することを目的に表彰するものです。

記

日 時：平成30年11月3日（土）10：10～

（広島大学ホームカミングデーのオープニングセレモニー内）

場 所：広島大学東広島キャンパス サタケメモリアルホール

各表彰：（1）広島大学長表彰 【4人及び2団体】

広島大学の発展に貢献した者を表彰

（2）広島大学長特別表彰 【3人】

広島大学のみならず広く社会一般に貢献のあった者を表彰

（3）Phoenix Outstanding Researcher Award 【6人】

若手研究者（45歳未満の准教授・講師・助教）のうち、平成29年に執筆した論文数の多かった大学教員を表彰

（4）広島大学教育賞 【2人】

教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる者を表彰

※ 被表彰者の氏名は別紙のとおり。

《参考》広島大学長表彰について

広島大学トップページ>大学案内>受章・表彰>学長表彰

http://hiroshima-u.jp/about/awards/presidents_awards

広島大学トップページ>大学案内>受章・表彰>広島大学教育賞

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/awards/kyoikusho>

【お問い合わせ先】

広島大学長表彰他（1）～（3）

財務・総務室人事部 人事グループ 鳥山 剛、鳥井 照美

TEL:082-424-6024 FAX:082-424-6080

E-mail : fukumu-fukumu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学教育賞（4）

教育室教育部 教育支援グループ 舟木 理華

TEL : 082-424-6154 FAX : 082-424-6170

E-mail: kyoiku-group@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

平成30年度 広島大学長表彰 被表彰者(4名+2グループ(10名))

所属	職名	氏名	業績概要
大学院社会科学部研究科	准教授	かどや よしひこ 角谷 快彦	介護市場の設計や金融リテラシー向上の施策等の社会的関心の高い研究テーマに積極的に取り組むとともに、その研究成果を積極的にメディアに発信し、2017年度においては世界十数か国、四十以上のメディアに特集されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医歯薬保健学研究科	教授	たなか じゅんこ 田中 純子	女性研究者として、疫学分野において、我が国の疫病の予防と制御の実践研究に貢献し、大型外部資金も獲得するほか、医学教育の改革と充実に貢献され、医学科長、医学部副学部長及び教育研究評議会評議員を併任するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医歯薬保健学研究科	教授	つが かずひろ 津賀 一弘	日本初となる舌圧検査を確立するとともに、企業と共同で舌圧測定器を開発し、その検査は全国の臨床・疫学研究で活用され、高齢者の口腔機能低下症における診断・治療のツールとして役立つなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院先端物質科学研究科	助教	とみなが よりこ 富永 依里子	結晶欠陥を活用した発光デバイス用の新しい半導体混晶に関する独自の視点に立った研究の業績により、国内外において高い評価を受け、学際共同研究も積極的に推進するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
ナノデバイス・バイオ融合科学研究所	特任教授	きつかわ たかまる 吉川 公麿	携帯型の乳がん早期検診装置開発グループ 安全性と検出性能を備えた携帯型の乳がん検診装置を開発し、従来のX線マンモグラフィの課題である疼痛・放射線被曝のない新たな画像診断法確立の可能性を開くなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
病院	教授	ありひろ こうじ 有廣 光司	
原爆放射線医学研究所	教授	おかだ もりひと 岡田 守人	
病院	助教	ささだ しんすけ 笹田 伸介	
大学院医歯薬保健学研究科	教授	ひで みちひろ 秀 道広	
大学院生物圏科学研究科	教授	やまもと たみじ 山本 民次	水域底質改善材開発グループ 硫化水素やリンの吸着機能に優れた水域底質改善材を、石炭火力発電所から副生する石炭灰を用いて開発し、廃棄物の減量の観点で、循環型社会形成に寄与されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
神戸大学内海域環境教育研究センター	助教	あさおか さとし 浅岡 聡	
Pukyong National University KOREA	Assistant Professor	きむ きよんへ 金 暻會	
中国電力株式会社 電源事業本部石炭灰有効活用グループ	マネージャー	なかもと けんじ 中本 健二	
大学院工学研究科	准教授	ひびの ただし 日比野 忠史	

※ 網掛けは学外者

平成30年度 広島大学長特別表彰 被表彰者(3名)

病院	教授	おおげ ひろき 大毛 宏喜	平成30年7月西日本豪雨災害の対応において、広島大学豪雨災害調査団の一員として、地域住民等の安心安全に関する諸活動を行うなど、本学の研究面での実績に基づき、積極的且つ真摯に災害支援活動に取り組まれました。
大学院工学研究科	教授	かわはら よしひさ 河原 能久	
大学院工学研究科	准教授	つかい まこと 塚井 誠人	

平成30年度 Phoenix Outstanding Researcher Award 被表彰者(6名)

大学院医歯薬保健学研究科	講師	おかだ さとし 岡田 賢	本学の若手研究者として研究活動に邁進し、多くの学術研究論文を執筆されるなど、優れた研究業績を挙げられ、本学の研究力の向上に顕著な貢献をされました。
大学院工学研究科	准教授	おぎ たかし 萩 崇	
大学院工学研究科	准教授	たなか さとゆき 田中 智行	
大学院国際協力研究科	准教授	ちゃん だん すあん TRAN DANG XUAN	
大学院生物圏科学研究科	准教授	とみやま たけし 富山 毅	
大学院理学研究科	准教授	みやはら まさあき 宮原 正明	

平成30年度広島大学教育賞 被表彰者（2名）

所属	職名	氏名	業績概要
外国語教育研究センター	特任講師	くさなぎ くにひろ 草薙 邦広	「コミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ」等の教養教育英語科目において、PCの積極的な活用、自作ライティング支援ソフトの提供、協同学習の実践など特徴ある教育を実施することにより、受講生のTOEIC得点を継続して大きく向上させるなど、本学学部生の英語によるコミュニケーション能力の涵養や英語学習に対する動機づけに大きく貢献されました。また、「My Best Teacher」として学生からの推薦も得ています。
大学院生物圏科学研究科	准教授	にしほり まさひで 西堀 正英	PBLを中心としたアクティブラーニングを早くから積極的に取り入れ、「広島大学型アクティブラーニングによる研究者養成特別コースプログラム」等で優れた教育効果を挙げるとともに、FD活動を通じて、本学における教育改革に大きく貢献されました。また、JSTの「グローバルサイエンスキャンパス」や「ひらめき☆ときめきサイエンス」、高校への出張講義、夢ナビライブによる入試広報活動等、多くの高大接続事業に参画し、本学の教育力を広くアピールされました。